

[論文]

## 日中両国語における新語・流行語の造語法の比較 —2012年から2016まで五年間の新語・流行語を対象に

蔣 新桃

### 1. 序論

#### 1.1 問題提起

経済の発展、技術の革新、インターネットの普及、通信技術の発達につれて社会はこれまで我々が経験したことのない速さで発展し変化していると言えよう。言葉は時代とともに変化していき、社会の変化や発展などから影響を受ける一方、その変化と世相を反映して作られる。人類は新しいものを追及し、まねをする習性があるため、新語・流行語も世界中に次々と広がるようになった。言い換えれば、新語と流行語は社会と文化の言語的反映である。日中両国語における新語・流行語は一種の特殊な言葉として、どのように形成され、どのような語構成を持つのか、どのような相違があるのかといった問題について考えてみたい。

#### 1.2 先行研究とその問題点

社会の発展に伴い、様々な新製品・新概念・新思想などが次々と現れ、それらを反映する新語も次々と作り出される。社会現象を反映する新語が短時間のうちに広い範囲に普及し流行語になる。また、社会の状況・世相・風俗などを表現しあるいは風刺する言葉がテレビ・ラジオ・雑誌・インターネットなどを通じて大衆に受け入れられ反復されることで流行語になる。

新語・流行語とは何か、定説はないようである。米川明彦(1989:11)によれば、新しくその言語社会に現れ、又は既存の物事や概念を新しく表現するために作られ、新しい意義を与えられ、その存在権を社会によって

承認された語である。それまでそのような語形、そのような意義としてその言語社会の語彙の構成要素ではなかった語が新たに出現した時、新語と称される。流行語は新語の一種で、その時代に適応し、きわめて感化的で、爆発的に使われ始める民衆語である。多くは徐々に消滅するか、一部は一般語彙として定着する。小矢野哲夫（1997）は、ある期間、地域的にも年齢的にも広い範囲にわたって共感的に使用され、世相象徴的なものと指摘している。二人とも流行語の「時代性」と「広く使用されること」という二つの要素を強調している。中国では邢福义（2007）が「新词语，既包括采用新语表形式的词语，也包括增加了新义项的词语（新語には、新しく出てきた表現も、古い表現に新内容が増加する言葉も含まれる）」と論述している。また『現代漢語詞典』では、流行語を、「ある一定の時期において、社会に広く流行っている言葉である」と定義している。新語から流行語になった語も、その流行時期が過ぎた後一般語になるものもあればまったく使用されなくなっていわゆる死語になるものもあり、流行期間が短くても消えることなく長期間存在し続ける新語もある。

両国の言語学の研究者を始め、多くの人々が新語・流行語に注目を集めてきた。研究者は概ね言語学と社会学の視点から、流行語の特徴、造語法や流行語の変遷・機能などの問題をめぐって研究を進めてきた。日本における流行語の研究は、流行語発生の理由を、社会、文化、人間心理の面から検討するものが多い。米川明彦（1989）は明治以後百年間の新語・流行語を発生理由と語の形態、語の違和感、語の普及性など四つの面から論考し、その発生理由として社会状況や世相、風俗からの影響を検討した。安本美典（1997）は流行語の音韻、構造と人間の心理要素を結び付けて研究した。窪園晴夫（2002）は語構成論の立場から流行語の作られ方と意味変化に踏み入って考察し、言語学の法則や原理を解き明かしている。新語・流行語辞典も『明治大正の新語・流行語』（1983）、『現代新語辞典』（1996）、『平成・新語×流行語小辞典』（1999）、『みんなで国語辞典2 あふれる新語』（2009）等数多く出版されている。

中国では流行語に関する辞典などはあまり目にしないが、2000年以降、

インターネット上に流行語を整理してトップテンで示すようなサイトも増加している。また、主に流行語自体、社会文化、心理的原因という三つの角度から研究論文も発表されている。例えば陳建伟（2008）はインターネット言葉の発生・造語法などを研究し、邱雪玫・姜莹（2010）は中国の流行語の定義の変化から流行語が現代漢語や文法へ浸透する過程を考察した。王钦鸿（2005）は中国の流行語に反映した世相について検討した。総じてみると、中国における新語・流行語の研究は日本ほど充実しておらず、まだ定着していない分野であることが伺える。

新語・流行語の作られ方は主に二つに分けられ、一つは既存語と全く関係なく新しい語を作ることであり、もう一つは既存語を利用して新しい語を作ることである。後者はさらに借用法・派生法・省略法・合成法・類推法に分類できる（米川 1989：93-94）。言語学の角度から単語を語構成によって分類すると、単純語と合成語に分けられ、合成語はさらに複合語と派生語に分けられる。窪蘭晴夫（2002：42）も合成語の下位分類に複合語と派生語があるとしており、米川の分類に不適切な所があり、合成法と派生法を並立させることは合理性に欠けているのではないかと考えられる。『日本語学研究事典』によると、新語は新造語、借用語、転用語に分けられる（飛田 2005:146）が、具体的な論述はされていない。上述したように、新語・流行語の造語方法はさまざまあるが、そこには重なる部分もあれば未確認の部分もある。中国語と日本語を対照させたものとしては、苗苙（2004）が造語法という一側面だけの対照研究を行っている。梁麗娟（2008）は中日新語・流行語の造語法を借用法・合成法・省略法に分けて比較した。その分類には不適切と思われる部分もあり、中国語のケースをむりやり日本語のケースに合わせているような箇所も見受けられる。

### 1.3 本研究の立場と研究対象

本論文では先行研究の造語上の分類方法を参考にしながら、筆者なりの考えに結び付けて再分類を試みたい。日中対照言語学の角度から、具体的な用例を通して日中両言語における新語・流行語の語構成を分析して、新

語・流行語の相違点を明らかにしていきたい。

本論文で取り扱っている用例は、2012年から2016年までに新語・流行語と判断されたものを研究対象とする。日本側では、自由国民社主催の「新語・流行語大賞」の流行語ランキングを主要研究対象とする。また、より全面的な分類整理と比較分析ができるように、ノミネートされた語彙も研究対象に取り入れる。中国側は10年以上「年度十大流行語」の選出をしてきた雑誌『咬文嚼字』とネットユーザーのクリック数を基に専門家のコメントを加えた「互動百科」の流行語ランキングを参考に選出され、2012年から2016年までに趙蔚青が愛知大学中日大辞典編纂所『日中語彙研究』に発表した年ごとの20語の5年分で100語を対象とする。上述した新語と流行語の定義によれば、新語と流行語は対等な関係ではないと言えるだろう。新語は流行語になる場合もあるが、そうでない場合もある。本論で取り扱っている事例は日本の「新語・流行語大賞」の受賞語と中国の流行語ランキングの上位を占めたものであり、ここでは「新語・流行語」と呼ぶことにする。

## 2. 新語・流行語の造語法による分類

先行研究で論述したように、『日本語学研究事典』によると、新語には新しく造語する（新造語）、外国語を借用する（借用語）、在来語を転用する（転用語）という三つの種類がある。本論で取り扱う「新語・流行語」は新造語の特質を持っており、『日本語学研究事典』の分類法に米川明彦（1989）の分類法を加味して、既存の語を利用して作られた新語・流行語を蘇らせた語、借用語、転用語の三つに分けて考察する。一つの語に対して造語法による考察は一つ以上の視点で分析分類できるが、本研究では便宜上一つの語を一つの決められた造語法に限定しないことにする。

### 2.1 既存の語と無関係の新造語

新造語とは文字通り新たに創造された語である。造語は大きく二つに分

けられ、一つは「語基創造」であり、もう一つは「既存の語の利用」である。「語基創造」とは既存のどのような語基とも関係を持たず、新たな音素連続を作り出すものである（野村 1984：40-41）。しかし、実際には語基創造はなかなか難しい。それは商品名や人名などの命名において多く見られるが、一般語ではほとんど起こりにくいし、起こるとしてもまったく無意味な音素連続の創造ということは稀である（野村 1984：41）。米川明彦（1989：93）は新造語は擬音語や擬態語がほとんどであり、この種のもを創造するのは難しく少数だが、商品名やマンガ、タレントのギャグに見られると指摘している。最近では日本で「じえじえじえ」（2013）、中国語で「Duang」（2015）と「么么哒」（2014）等が見られる。

「じえじえじえ」は三陸地方の方言で驚いたり感動したりする時に発する擬音語であり、「Duang」はCMの中に効果音を強調するための擬音語である。「么么哒」はキスをする時の擬音語で、日本語で表現すると「ン～マッ」という感じになり、相手にキスを送っている事になる。つまり、相手に対する好意や愛情を表すための語気詞のような役割がある。この三つの擬音語は全部物事を強調するためのものである。小野正弘（1997）によると、通常の語としてまったく新しい語を編み出すことは難しい。それに対して、オノマトペは、比較的、まったく新しいものでも生み出しうると言えそうである。オノマトペで聴覚性・視覚性を表現することができるから、感覚をまず最初に考える若者たちに多用されるのであろう。

## 2.2 既存の語を利用した語

以下では既存の語を利用して作られた新語・流行語を蘇らせた語、借用語、転用語の三つに分類して論考する。

### 2.2.1 蘇らせた語

蘇らせた語とは以前からある言葉と発音・語形が変わらず、ある事件やきっかけによって元の意味のままで突然流行語になったり、新しい意味が与えられたりする語のことである。通時的に見れば使用時期が新しいということでも新語・流行語の一つにされている。

元の意味のままです突然流行語になる語が両国共にたくさん挙げられる。日本側では、例えば、「爆弾低気圧」(2012)、これは短時間に急速に発達し、熱帯低気圧並みの風雨をもたらす温帯低気圧の通称である。世界気象機関(WMO)の定義では、中心気圧が24時間以内に24ヘクトパスカル以上低下するものを指す。1978年に豪華客船クイーン・エリザベスⅡ号が大西洋を横断中、猛烈に急速発達する低気圧に襲われる事故が起きたのをきっかけに、この呼称が使われるようになったと言われている。「爆弾」という表現に抵抗があることから、日本の気象庁は「急速に発達する低気圧」と言い換え、これを気象用語として用いている。2012年4月初めに日本海を通過した「爆弾低気圧」は広い範囲で強い風雨をもたらした。台風並みに発達した低気圧をインパクトある表現で表したことが授賞理由だそうである。「IPS細胞」(2012)の受賞理由は「IPS細胞」を作り出すことに成功した京都大学教授の山中伸弥(現IPS細胞研究センター長)が2012年にノーベル医学・生理学賞を受賞したからである。日本中に大きな喜びを与え、流行語になったのである。実は2006年8月時点で山中伸弥教授はマウスの皮膚細胞(線維芽細胞)からES類似細胞の結合に成功(2005年)と発表し、この細胞をIPS細胞(人工多能性幹細胞)と命名している。「集団的自衛権」(2014)という用語は30数年前の『現代用語の基礎知識』からすでに収録され、ずっとそれは現憲法下では「違憲」だと紹介されてきた。それが2014年、安倍政権の下でいきなり解釈を変更され、その行使が可能となったため、社会の大事件となり、年間大賞語となった。「ドローン」(2015)は英語「drone」からの借用語でもあるが、操縦士が乗らない、無人飛行機といった意味である。流行語になったのは2015年1月に「新宇宙基本計画」が決定され、日本の宇宙システムの利用が民事から軍事へと大転換し、11月には初の国産ジェット旅客機三菱リージョナルジェットが初飛行を成功させ、空のニュースが話題となったからである。他には「エンブレム」(2015)、「トリプルスリー」(2015)、「盛り土」(2016)、「民泊」(2016)などが挙げられる。

中国語には「霧霾」(2013)、「大黃鴨」(2013)、「狗頭金」(2015)、「供

給側」(2016) などがある。「霧霾」の「霧」は普通の霧、「霾」は土やほこりなどを多く含んだ淀んだ大気やスモッグのことを指すが、「霧霾」は基準値を超えた高濃度のPM2.5を含む空気のことである。2013年1月、中国の広範囲の地域でPM2.5による大気汚染の問題が発生し、「霧霾」は連日メディアに取り上げられ、広く知られるようになった。「大黃鴨」とはオランダの芸術家フロレンティン・ホフマン氏がデザインした「ラバー・ダック」のことである。「ラバー・ダック」は2007年に高さ26メートルの最初の作品が誕生して以来、日本、イギリスなど10カ国13都市を相次いで訪問し、行く先々で大変な注目を浴びていた。2013年5月に香港を訪れた後、9月には北京にも姿を現したので話題を呼んでいた。「狗头金」とは天然にできた金塊のことであるが、この言葉が流行したきっかけは、2015年に新疆のある牧人が7.85キロもの金塊を拾った出来事であった。この大きな金塊が拾った牧人のものになるのか、国家に納められるべきか、法律の専門家まで加わる論争に発展した。「供給側」は「需要側」と対義語になっている。「サプライサイド」とも言う。持続可能な経済発展を図るために、習近平国家主席が、2015年の後半に「供給側改革」を提出したので、受賞語になった。ほかには「防空識別区」(防空識別圏)(2013)、「粉尘爆炸」(粉塵爆発)(2015)、「熔断」(サーキットブレーカー)(2016)、「引力波」(重力波)(2016)、「洪荒之力」(洪荒の力)(2016)などが見られる。

また新しい意味が与えられたりする語とは本来別の意味を待つ語が、既存の語形は変わらず、新たな意味で新しい場面で使われる語のことであり、これも両国で見られる。

例えば、日本語にある「第3極」(2012)は元々第三の極地、つまり南極、北極に次ぐ極地—ヒマラヤ山脈を言うが、第三の勢力、つまり主導権を取ろうとねらう新興勢力を指すようになり、具体的には2012年の衆院選で、みんなの党、日本維新の会、日本未来の党など、より新しい国政政党が新たな第3極と位置付けられていた。また「レジェンド」(2014)本来は伝説、言い伝えの意味であるが、7大会連続五輪に出場し、40歳を超えても世界

の第一線で活躍するスキージャンプ選手の葛西紀明が2014年のソチ五輪では大注目され、海外のメディアが尊敬の念を込めて評したことから、葛西選手の代名詞となった。「東京ソラマチ」(2012)は「タワーのある街」(空の街)であることを表現する名称であるが、今は2012年に開業した東京都墨田区にある商業施設のことを指している。

中国語では新しい意味が与えられる語が日本語より多い。「屌丝」(2012)は男性の陰毛を指しているが、2012年に背が低く、醜く、貧しく、もてない男性という意味で広がってきた。現在は「高富帅」(背が高く金持ちでイケメン)と対義語的に使われている。「土豪」(2013)は本来土地の有力者のことであるが、金遣いが荒く品がない自慢好きな金持ちを指す。中国大妈(2013)は字面の意味は中国のおばさんという意味であるが、2013年金相場が下落した間に、競うように金を買って占めた中国の中年の女性たちを指すこととなった。「老司机」(2016)は元々ベテラン運転手のことを指していたが、2016年に雲南省の民謡風に歌われた歌詞の中に「老司机带带我」(運転手さん、載せてちょうだい)の一句が、BBSで広く使用された結果、一気に広がってきた。現在はあることについてよく知っている、またはその分野のプロという意味になって、特にエロチックな話題や話しにくいことについていう場合が少なくないようである。「一言不合」(2016)は本来「話が合わない」という意味で、「話が合わないとすぐ喧嘩になってしまったり、ややもすれば相手と別れる」など、マイナスのイメージをもち、よく考えずに悪い結果をもたらす行動に移すという意味であった。現在はプラスのイメージでも使うようになり、ただ単に思いがけない何かを仕出かす様子を表すようにと意味を変化した。「套路」(2016)は元々武術用語で、決まっている型や動きをいくつか組み合わせた動作のことであるが、現在は経験や知識を通して確立している「やり方、手順、手法」、場合によっては「ノウハウ」的な意味合いで、日常会話では使われている。

### 2.2.2 借用語

経済、科学技術、社会文化などの発展に伴い、言葉の不足という問題が出てくる。その不足を補充する手段の一つは借用である。借用によって作



られる語が借用語である。借用語には外国語からの借用、方言からの借用、隠語からの借用という三つの種類がある（米川 1989：94）。本論では借用語を外国語と方言からの借用の二つの場合を取り上げて論考する。

### 2.2.2.1 外国語からの借用

日本語における外国語からの借用語は外来語をそのまま使うものと和製英語を使うものの二種類がある。

外来語とは、「外国語が翻訳されずにそのまま用いられ、その使用が社会的に承認され、日本語として定着したもの。日本語化した外国語、意味上原語と同じとは限らず、音（語形）についても原語と同じではない」（飛田 2005：152）のことである。外来語が日本語に導入される場合、そのままカタカナで表記される。本論で考察する新語・流行語は、主に英語から来た借用語であるが、イタリア語からの借用語も一つだけある。「アモーレ」（2016）はイタリア語 *amore* で「愛、恋、愛する人」を意味する。サッカー日本代表の長友佑都選手が2016年に交際を報じられていた女優の平愛梨との交際を宣言した際、平のことを「アモーレ」と称したことから、インターネットや報道などでこの単語が話題となった。英語から来た借用語はたくさんある。例えば：「ダークツーリズム」（*dark tourism*）（2013）、「ビッグダディ」（*big daddy*）（2013）、「アイス・バケツ・チャレンジ」（*ice bucket challenge*）（2014）、「バックビルディング」（*back building*）（2014）、「ビットコイン」（*bitcoin*）（2015）、「インバウンド」（*inbound*）（2015）、「スーパームーン」（*super moon*）（2015）、「ミニマリス」（*minimalist*）（2015）、「アスリートファースト」（*athlete first*）（2016）、「レガシー」（*legacy*）（2016）等である。

和製英語とは、「一見、英語圏より伝来した外来語風（英語風）ではあるが、日本で新たに作られたもので、本国ではそのような言い方と表現をとらない語」（飛田 2005：153）のことである。和製英語からの借用語は日本語の新語・流行語の中に少なくないと言えるが、中国語にはない。次に日本語における和製英語について紹介する。例えば、「フライングゲット」（*frying get*）（2013）、「ハーフハーフ」（*half-half*）（2014）、マイル

ドヤンキー (2014) (Mild Yankee)、センテンス スプリング (sentence spring) (2016) が挙げられる。この中で注意を要するのは「センテンス スプリング」である。「センテンス スプリング」とは英語で「文」を意味する「sentence (センテンス)」と「春」を意味する「spring (スプリング)」を繋げた和製英語で株式会社文藝春秋が発行する週刊誌『週刊文春』を意味する。2016年1月、タレント・女優のベッキーとロックバンド「ゲスの極み」のボーカル川谷絵音の不倫騒動を取り上げた週刊文春に対し、二人がLINE上で同誌をセンテンススプリングと呼んでいた。このLINEのやりとりが流出し、センテンススプリングが広く浸透し、更にそれを略したセンスブも週刊文春の別称として用いられるようになった。「ハーフハーフ」は浅田真央の名言で、外国人記者クラブのインタビューで、引退か現役続行について質問されて、「ハーフハーフ」と返答した。相手が外国人だから、「フィフティーフィフティー」と言おうとしたが、「フィフティーフィフティーでは外国人ポイかな」と真央さんが思ったので、日本人の真央さんは、日本人にも外国人にも通じる「ハーフハーフ」にしたのだそうである。

英語からの借用語は中国語にも少なくないと言えるだろう。だが、借用の方法には大きな違いがある。中国では、殆どの言葉は意識される。例えば：「苹果支付」(Apple Pay) (2016)、「引力波」(Gravitational Wave) (2016)、「中东呼吸综合征」(Middle East Respiratory Syndrome) (2015)、「粉尘爆炸」(dust explosion) (2015)、「互联网+」(Internet plus) (2015)、「大数据」(big data) (2014)、「冰桶挑战」(ice bucket challenge) (2014)、「最强大脑」(Super Brain) (2014)、「新常态」(New Normal) (2014)、「黄金大米」(Golden Rice) (2012) 等である。一方、「纳什均衡」(Nash equilibrium) (2015)、「埃博拉病毒」(Ebola virus) (2014)、「比特币」(Bitcoin) (2013)、「阿尔茨海默病」(Alzheimer disease) (2012) は音訳+意識の方法が採られている。音訳だけでは字面を見ても何か分からない場合、「音訳+属性」という方法がよく採られる。例えば「棱镜计划」(PRISM) (2013) がそうである。

中国語には和製英語ではなく、日本語からの借用語がある。例えば:「自拍」(2013)、「壁咚」(2015)、「颜值」(2015)、「阿尔法围棋」(2016)が挙げられる。「自拍」は日本語の「自撮り」から借用してきた。デジタルカメラやカメラ付きケータイで自分の映像を撮るのが、もはや日常茶飯事になっている。そのため、自分撮り(写真)という言葉の使用もどんどん盛んになってきている。また「壁咚」は日本語の流行語「壁ドン」から借用してきて、意識+音訳の方法を採用する。「颜值」は日本語の「顔面偏差値」から借用して、人間の顔の良さを測定する意味であり、普通は「颜值が高い」と肯定的に言い、とびっきりの美男美女を表すには、「颜值爆表」(計器の計測範囲を超えて測れないほど颜值が高すぎる)という表現もある。「阿尔法围棋」(AlphaGo)は米グーグル社の人工知能開発企業ディープマインドによって開発された囲碁コンピュータプログラムである。「Go」は日本語の「碁」のことを指して、中国語では「围棋」という意味であり、つまりここは音訳+意識の方法を採用する。

#### 2.2.2.2 方言からの借用

方言は共通語と無関係ではなく、互いに影響を受けている。語彙の上でも、基礎言語としての方言の語彙と表層言語としての共通語という二重構造の中で我々の生活は営まれていることになろう(田中春美 1975:75)。中国語でも日本語と同じ現象が見受けられる。各地域の方言には共通語にない表現力の強い言い方が多い。そのような方言は地域を超えて広く広がり、共通語に吸収される。

本論で考察する「新語・流行語」の中に、方言からの借用語が2語含まれている。「こびっと」(2014)は甲州弁(山梨の方言)で、「しっかり、きちんと」といった意味合いの語である。2014年に放送されたNHK連続テレビ小説「花子とアン」では「こびっと」をはじめとする甲州弁が度々用いられていた。福山ロス(2015)は「ましゃロス」と読まれ、これは福山雅治の愛称「雅」が、長崎弁でサ行が「シャ」になり、「ましゃ」と呼ばれることに由来する。

同様の例が中国語には5語含まれている。「你造吗」(2014)は「你知道吗」

の意味で、二つの漢字の発音を縮約し、同音の一漢字で当てる話し方が台湾の若者によく見られる。それをわざと強調し、新鮮な感じを伝える言い方が中国大陸でも流行り始めた。「我也是醉了」(2014)は21世紀初めから武漢の若者の間で現れた言い方だという説があり、ゲーム関係のBBSで自分やチームメンバーの失敗への不満を婉曲に表す意味で使われることによってだんだん広がった。「醉」は元々日本語と大体同じように、「酒に酔う」の意味のほか、「ピアノの曲にうっとりする」という意味もあるが、特定の人や出来事に対しあきれたり、どう対処したらよいか分からなかったりする時の気持ちを表す意味として新たに使われるようになった。「撩」(2016)は「煽ぐ」という意味があり、江西省や広東省の一部の地域方言では特に異性の好感を得るためにあれこれと口説くことを指す。女性を口説くことを「撩妹」、男性の注意を引くことを「撩汉」と言う。「蓝瘦香菇」(2016)は失恋した広西省の男性が広西訛りのため、公開されたビデオで「难受想哭」を言ったつもりで「蓝瘦香菇」と発音してしまった。[n]と[l]、[g]と[k]を混同する訛りのため、「蓝瘦香菇」(青くて細いキノコ)に聞こえてしまう。この動画を見た中国のネットユーザーにかなりウケた結果、一気に流行語として拡散された。「葛优瘫」(2016)は「北京瘫」とも言い、北京方言で北京っ子の力を抜いた一種の行儀の悪い座り方との意味である。歌手の張偉がテレビ番組で紹介したのがきっかけとなり広まった言葉である。1993年から1994年にかけての人気コメディドラマ『我爱我家』(『わが家を愛する』)の中の人気俳優葛優の座り方が代表的な例として挙げられているので、「葛优座り」とも言われる。

### 2.2.3 転用語

転用語とは既存語を利用し、語形を変えたり新しい意味を与えたりした言葉を指す。つまり、在来語を転用し作り出された語である。転用語の分類について、窪園晴夫(2002)は合成語、複合語、派生語、疊語、短縮語、頭文字語、混成語という七種類に分類しているが、本稿では米川明彦(1989, 1996)の分類法を参考に、考察対象の実態に基づき、合成語、略語、もじり語、混交語という四種類に分けることにした。

### 2.2.3.1 合成語

野村雅昭（1984）によれば「既存の語の利用」は既存の語を利用して新しい語を造ることで、代表的なものとしては合成があると言っている。2個以上の構成要素からなる単語を合成語という。合成語には複合語と派生語がある。基本的には、複合語は2個以上の語基から成っているものであり、派生語は1個の語基と1個以上の接辞から成っているものである。派生語の必要要素である接辞には、語基に前接する接頭辞と語基に後接する接尾辞とがある（玉村 1992:291-292）。また、玉村文郎（1997）によると、合成によってできている単語が一番多く、この方法を抜きにしては新語づくりの可能性はほとんどなくなってしまうだろうとまで考えられる。2012年から2016までの五年間の分析データによると、日本語にも中国語にも合成語は圧倒的に多い。

まず複合語について説明する。例えば:「休眠口座」(2012)、「金環日食」(2012)、「弾丸登山」(2013)、「雨傘革命」(2014)、「白紙撤回」(2015)、「聖地巡礼」(2016)のような漢字で表記される漢語であったり、「こじらせ女子」(2013)、「さとり世代」(2013)、「輝く女性」(2014)のような漢字と平仮名で表記される和語であったり、「ブラック企業」(2013)、「妖怪ウォッチ」(2014)、「都民ファースト」(2016)、「トランプ現象」(2016)のような片仮名と漢字で表記され混種語であったり、「IPS細胞」(2012)、「PM2.5」(2013)、「JK ビジネス」(2014)、「EU 離脱」(2016)、「SMAP 解散」(2016)のような頭文字語からなる単語で、アルファベットと片仮名或いは数字或いは漢字で表記された混種語であったりする。日本語は普通、漢字、片仮名、平仮名、ローマ字という四種類の文字体系が使われ、各文字の役割は各文字の機能によって決められ、使い分けもされている。これらの特徴は日本語の造語上の柔軟性と変化性という側面を表している。

中国語にも複合語のたくさんの例が挙げられる。「异地高考」(2012)、「春运神器」(2013)、「安全感工资」(2013)、「社交媒体」(2013)、「社会抚养费」(2014)、「吃瓜群众」(2016)のような漢語は殆どそうである。「PM2.5」

は全世界でも通じる言葉であり、中国語でもそのまま使われている。

次に派生語の接頭語と接尾語の例を挙げる。日本語では「塩～」「倍～」「リトル～」「爆～」という接頭辞からなる接頭語——「塩麴」（2012）、「塩レモン」（2014）、「倍返し」（2013）、「リトル本田」（2014）、「爆買い」（2015）があり、「～コン」「～熱」「～砲」「～てる」という接尾辞からなる接尾語——「街コン」（2012）、「 Deng 熱」（2014）、「ジカ熱」（2016）、「文春砲」（2016）、「神ってる」（2016）がある。

中国語の場合、接頭語には「中国式～」「女～」「裸～」という接頭辞からなる「中国式买房」（2012）、「女汉子」（2013）、「裸年」（2014）、「裸条」（2016）、接尾語には「～强迫症」「～潮」「～style」「～哥」「～荒」「～梦」「～族」という接尾辞からなる「网购强迫症」（2012）、「龙年婴儿潮」（2012）、「江南 style」（2012）、「表哥」（2012）、「橘子哥」（2015）、「钱荒」（2013）、「中国梦」（2013）、「剁手族」（2014）等がある。

以上の用例を見てみると、接頭辞と接尾辞の意味・機能が明らかになる。例えば「爆～」は「爆発」という比喩で程度を強調し、意味添加の機能で、「爆買い」は爆発的な購買欲に基づいて大量に買うことを表す。接尾辞の「～てる」は若者言葉で、形式は動詞であるが、意味的には形容詞であり、従来の形容詞の不足を補う接尾辞になっている。「神ってる」（2016）は若者言葉で、神霊を宿していると思わせるような超人的な技能、間の良さ、あるいは展開の都合の良さなどを表現する語である。2016年には、プロ野球で2試合連続サヨナラホームランを放った広島カープの鈴木選手を緒方監督が「神ってる」と評し、注目を集めた。流行語「ジカ熱」と「 Deng 熱」からも接尾辞「熱」の機能が分かる。つまり、接頭辞も接尾辞も意味添加の機能を持っている。

中国語では「裸」は日本語と同じくヌードという意味で、「裸条」とはヌード写真の意味で、女子大生を対象にローンを提供するネット上の業者が「借条」（借用書）の代わりに、裸で身分証明や家族の連絡先などを持って写真または動画を撮るように要求し、期限内に返済できなかつたら、ヌード写真や動画を公開すると借金した女子大生を脅した事件が注目され

た。「裸年」は手当なし正月のことを指し、2014年の反腐敗活動の規制の中で、政府機関などで公務員に正月手当や正月用品などが支給される習慣がなくなった。大勢の公務員が不満を感じ、安月給の明細をネットで公開する人も出ており、一時話題になった。接尾辞の「～哥」は元々兄という意味であるが、特別な人物という意味で接尾辞的に使われるようになり、「橘子哥」（2015）はアメリカの青年マートのなくしたiPhoneが、転々と流されて中国人の男の手に渡った。その男がミカンの木の下で写真を撮ってみると、なんと同じアップルIDのアメリカ青年マートのスマホに同期されてしまった。男は、ミカンの木の下で撮った写真から「ミカン兄貴」と呼ばれるようになった。「表哥」（2012）は高級ブランド腕時計をよくつける官僚をからかう言葉として使われている。接尾辞「～荒」は物事の不足を意味するので、「油荒」「水荒」「煤荒」の表現はたくさんある。ほかには「～夢」、「～強迫症」、「～潮」、「～style」はそれぞれ「夢」、「強迫神経症」「傾向」、「スタイル」という意味を表す。こう見る限り、中国語にある接頭辞と接尾辞も日本語のと同じように意味添加の機能を持つものと言えよう。

### 2.2.3.2 略語

『日本語学研究事典』によると既存語の一部を省略してより短い語形を作る造語法を縮約といい、縮約によって作られる語形を略語という。縮約という造語法は新語の基本的な造語法の一つだと言われている（飛田2005：170）。2012年から2016年までの研究対象の中には両国語にも複合語の縮約、句と文の縮約、頭文字語が含まれている。用例を以下に示す。

#### （一）複合語の縮約

家事ハラ（2014）＝家事労働ハラスメント

マタハラ（2014）＝マタニティハラスメント

モラハラ（2015）＝モラルハラスメント

ラブライバー（2015）＝ラブライブ・メンバー

オワハラ（2015）＝就活終われハラスメント

高大上（2013）＝「高端大气上档次」の略語で、センスがあり、ラ

ンクが高いことを表す。

(二) 句と文の省略

ソー活 (2012) = ソーシャルメディアを活用した就職活動

維新 (2012) = 維新八策

終活 (2012) = 終了活動

とりま、廃案 (2015) = とりあえず、まあ、廃案

アゴクイ (2015) = あごをクイツと手前に引くことから「アゴクイ」と呼ばれるようになった

民泊 (2016) = 民家に宿泊する

失独者 (2012) = 失去独生子女的父母 (一人っ子を失くした親)

不明觉厉 (2013) = 虽然不明白 (对方) 在说什么, 但是感觉很厉害的样子 (言っていることがよく分からないが、すごいなと思う)

APEC藍 (2014) = APEC会议期间的蓝天 (APECサミット期間中の青空)

失联 (2014) = 失去联系 (連絡を失う、つまり「行方不明」の意味)

然并卵 (2015) = 然而并没有什么卵用 (しかし何の役にも立たない)

城会玩 (2015) = 你们城里人真会玩 (やはりあなた達都会人は遊びをよく知ってるね)

重说三 (2015) = 重要的事情说三遍 (重要なことを三回も言う)

(三) 頭文字語

頭文字語は二つ以上の単語から構成される語の頭文字を取り上げて作られた言葉であり、略語の一種である。新語・流行語には頭文字語が二種類ある。一つは英語の頭文字語である。英語は普通的の言語であるため、世界に流行している。日本も中国も例外ではない。例えば:「APEC」(Asia-Pacific Economic Cooperation)、「AI」(Artificial Intelligence) は両国語にも使われている。だが、日本語には英語の頭文字語が中国語のより多く、例えば「PPAP」(Pen-Pineapple-Apple-Pen) (2016)、「LCC」(Low Cost Carrier) (2012)、SEALDs (2015) (Students Emergency Action for Liberal Democracy-s)、STAP (Stimulus-Triggered Acquisition of



Pluripotency) 細胞 (2014) が挙げられるが、中国語には上記の 2 語しかない。

もう一つは日本語の場合はローマ文字の頭文字語 (KY 語とも言う) であり、中国語の場合は言葉の発音のアルファベットの頭文字語である。例えば:「JK ビジネス」(2014) の「JK」は「女子高生」の頭文字語である。「J 婚」(2014) とは自衛官との結婚の意味であり、「J」は自衛官の頭文字語である。この五年間の研究対象の中で中国語のピンインの頭文字語はないが、以前は「BT (変態)」(変態)、「MM (美眉)」(美人)、「PL (漂亮)」(綺麗) などの流行語があり、若者によく使われている。

以上の用例から見ると、単語の下部を省略したものが最も多いことが分かる。窪蘭晴夫 (2002: 88) によると、語の最初の部分に語を同定する情報が多く含まれていて、逆に語末にはそのような情報が相対的に少なく、これは語の最後を残すと元の語が復元しにくいからである。コミュニケーションの第一目的は意思伝達で、相手に自分の意図が伝わらなければ縮約した意味がなくなってしまう。したがって、略語の大半は「初めが肝心」という省略の原則に従っている。

### 2.2.3.3 もじり語

米川明彦 (1989: 125) によれば、もじりは外来語のもじりだけを指している。ただし、外来語のほか、既存の日本語を真似して作った語もあり、本論ではこのようなまねによる語ももじり語に分類している。まず日本語の例を挙げる。例えば、「イクジイ」(2012) は「育児する素敵な男性」の呼び名として登場し、2010 年にトップテンに選ばれた「イクメン」をもじり派生した言葉であるが、「イクメン」は「イケメン」のもじりである。「あじさい革命」(2012) は首相官邸前に脱原発を求める大規模な市民運動であり、組織的なデモではなく、ソーシャル・ネットワークの呼びかけで多くの人が集まったために、中東の「ジャスミン革命」のもじりで、季節柄「紫陽花革命」と名付けたそうである。「アホノミクス」(2013) は同じ年の候補語「アベノミクス」のもじりで、第二次安倍内閣によって推進された一連の経済政策—「アベノミクス」に対する蔑称で

ある。「壊憲記念日」(2014)の「壊憲」は「改憲」と語呂合わせをしている。語呂合わせも一種のもじりである。「I am not ABE」(2015)は、イスラム系過激派組織「IS」に拘束され殺害された後藤健二にちなむ反テロ運動支援メッセージ「I am Kenji」(2015年のノミネート語)をもじった言い回しである。「私は安部首相を擁護しない」という意味を表す。

もじりは言葉遊び、娯楽機能を最もよく表している造語法であり、しかも批判精神も見え、若者に愛用される。これは中国語でもたくさんある。例えば、1億元(約15億円)を稼ぐといったような小さな目標—「小目標」(2016)は大金持ちにとっては、小さな目標であるが、庶民にとっては達成できないような目標を皮肉って使用している。また「僵尸肉」(ゾンビ肉)(2015)、「吃人电梯」(人食いエスカレーター)(2015)も同様にもじり語である。また中国語には同音字がたくさんあるため、新語・流行語は同音異義語の語呂合わせを利用して、別の意味やイメージを面白く伝えたり、生き生きと描写したり、風刺的に説明したりする。例えば、「黄金粥」(2012)(ゴールデンウィーク大混雑/大渋滞)は「黄金周」(ゴールデンウィーク)をもじった表現である。「粥」という語は、「黄金周」の「周」と同じ発音で、中国語でめちゃくちゃ混乱した様を意味する用法もある。「你幸福吗?」(あなたは幸せですか?)(2012)も同音字を利用して、答えづらい質問を巧みに変えた。稼ぎの労働者は「你幸福吗?」(あなたは幸せですか)と記者にしつこく尋ねられ、「我姓曾」(「私は曾と申します」)と妙な答え方をした。「幸福」の「幸」と「姓名」の「姓」が同音字であるのを利用したのである。「光盘行动」(2013)も同音の言葉による語呂合わせであり、造語方法として、「光盘」は空っぽを意味する「光」と、お皿を意味する「盤」からなっているが、すでに存在している「光ディスク」のことを意味する「光盘」を基にして作られた新語である。「手机三贱客」(スマホ愛用者にとって最も我慢できない三つの状態)(2014)はフランスの小説家デュマの《三剣客》(『三銃士』)をもじり、「三贱客」という。また2014年に受賞した「马上体」(馬上スタイル)(2014)も「马上」の同音異義語の語呂合わせを利用した。中国語の「马上」は「今すぐ」という副詞の用法があり、馬の背

中にお金を置き、「马上有钱」(今すぐお金持ちになる)、馬の背中に茄子一個を置き、「马上有一切」(「切」は「茄」と同音)(今すぐすべてが手に入る)などが午年の正月の挨拶として大流行した。

#### 2.2.3.4 混交語

混交語は『広辞苑』によると、意味・形の似ている単語や句が部分的に組み合わせあって、新しい言い方を作る言葉である。混成語とも言う。窪園晴夫(2002:39)によると、混交語は複合語とよく似た造語法であるが、二つの特徴がある。一つは意味的に似た語(表現)どうしを混ぜる。もう一つは一語の前半部分をもう一つの語の後半部分と結合して作り出すという。

考察された対象の中で日本語には次の3語がある。「アベノミクス」(2013)は主唱者である「安倍」の姓と、経済学・経済理論の総称である「エコノミクス」(economics)とを合わせた混交語である。「フレネミー」(2015)とは、「フレンド」(friend)と「エネミー」(enemy)の混交語で、友だちを装いながらも実際には敵視している人のことである。具体的には、本人の前では楽しく会話をするが、陰で悪口を言ったりする人などを指す。シン・ゴジラ(2016)の「ゴジラ」は外来語の「ゴリラ」(Gorilla)の前半を「くじら」の後半と結合して作られる混交語である。

中国語では混交語について異論はあるが、本論は張錦文(2003)の定義「混交語は中国語と英語(アルファベット)の2個以上の構成要素からなる語である」に基づいて、次の4語「江南 style」(2012)、「大V」(2013)、「APEC 藍」(2014)、「A4 腰」(2016)が挙げられる。「～ style」は接尾辞でもあるが、「江南 style」は表記としては英語と中国語からなる混交語でもある。「大V」は中国語と英語のアルファベットからなる混交語である。ミニブログの公式認証アカウントには、「V」マークがついている。普通50万人以上の大勢のフォロワーやファンを持つ公式認証アカウントを「大V」と言う。転じてネット有名人の意として使われている。「APEC 藍」(2014)は略語でもあるが、アルファベットと漢字で表記された混交語でもある。「A4 腰」(2016)は女優の袁姗姗が細い腰を自慢し、縦にしたA4用紙に

隠れたウエストを自撮りし、SNSで披露したのがきっかけで流行語になった。

### 3. 終わり

以上日中両国の新語・流行語の造語法の分析を試みた。両国語における新語・流行語は既存の語を利用して作られた語が殆どであることが分かった。総じて見れば、表記上において共に豊富化、多様化の様相を呈して、具体的には新釈義、外国語や方言からの借用、略語や合成語の多用、多種表記の混用、もじりの愛用など両国言語に共有される要素がたくさんあることが明らかになった。しかし違う所もあり、それは以下の五つにまとめられる。

- (一) 表記方式という面では、日本語の新語・流行語は中国語より豊富である。
- (二) 外来語の取り入れ方から見れば、日本の場合は英語からの借用語が多い。また、英語の意味を変化させて借用した例が多く、基本的にはそのままいわゆるカタカナ語として受け入れる。これに対して、中国は英語だけではなく、日本語から借用した語も少なくない。中国語は漢字を見れば意味が分かるため、常に意識の方法を取る。そのまま音訳された借用語もあるが、意味変化されずに近似音によって漢字表記に転換されている。
- (三) 省略法の使用頻度においては中国語は日本語には及ばない。省略の形式から見れば、中国語は基本的には語意の完全性を考えて意味上で重要な部分を残す形であるが、日本語は音節上の便宜性を考えて省略された表現も多い。金田一(1991: 48)は「日本人は四拍の形に何か落ち着きを感じて特に好むような傾向があるようだ。長い言葉を短く言う場合、四拍に縮めることが多い」と論じた。これは中国の「表意文字しかない」と日本の「表意文字と表音文字ともある」という特性の違いと関係があると思われる。

(四) 品詞の派生から見れば、日本語の新語・流行語は語尾に品詞性を表す「てる」などの接尾辞を付ける方法があるが、中国語の新語・流行語は語の形態を変化せずに品詞性が変わってしまうことが多い。

(五) 中国語の新語・流行語は派生され拡散される傾向が非常に強い。誕生してから強い伝染力を持つ流行語は媒介物を通じて他の表現に派生したり変異したりしながら、全国に拡散していくのである。「马上体」、「～style」、「中国式～」、「一言不合就～」などが具体的な例である。一方、中国語の新語・流行語の自由性と比べて、独立性は強いが類推や派生が起きにくいのが日本語の新語・流行語の語構成上の傾向である。

今回収集した例にはここまで述べてきた造語法に分類できないものもある。例えば日本語の「保育園落ちた日本死ね」、「テロに屈しない」、「絶景」、中国語の「最强大脑」、「世界那么大，我想去看看」などの新語・流行語は造語法という視点ではなく、他の視点から研究するべきかと思われる。また、新語・流行語は実際にいつから流行したのか、どのような変化をしたのかといった新語・流行語の経年での使用実態についての定量調査がより科学的なアプローチになろう。今後は新語・流行語の発展、変化などについての定量研究を課題として研究展開していきたいと思う。

## 参考文献

- 石井正彦・小沼悦（1997）「流行語と語彙」『国文学 解釈と教材の研究』12：73-78.
- 糸井通浩（1997）「流行語の修辭・造語法（生成過程）」『国文学 解釈と教材の研究』12：84-89.
- 伊藤雅光（2002）「流行語の構造と意味」『国文学 解釈と教材の研究』9：81-87.
- 稲垣吉彦（1999）『平成・新語×流行語小辞典』講談社
- 稲垣吉彦（1982）「現代の新語・流行語」左藤喜代治『講座日本語の語彙第7巻 現代の語彙』明治書院：161

- 稲子和夫（1996）『現代新語辞典』梧桐書院
- 小野正弘（1997）「新しいオノマトベ」『国文学 解釈と教材の研究』12：8-9.
- 北原保雄（2009）『みんなで国語辞典2 あふれる新語』大修館書店
- 金田一春彦（1991）『日本語の特質』東京：日本放送出版協会.
- 窪園晴夫（2002）『新語はこうやって作られる』東京：岩波新書.
- 米川明彦（1989）『新語と流行語』南雲堂.
- 米川明彦（1992）「新語と造語力」『日本語学』5：50-57.
- 米川明彦（1996）『現代若者ことば考』丸善ライブラリー.
- 米川明彦（1998）『若者語を科学する』明治書院.
- 小矢野哲夫（1997）「流行語と若者ことば」『国文学 解釈と教材の研究』12：98-102.
- 篠崎晃一（1999）「新語発生のメカニズム」『日本語学』5：18-24.
- 篠崎晃一（1997）「流行語の発生と伝播」『国文学 解釈と教材の研究』12：52-56.
- 田中春美（1975）『言語学入門』東京：大修館書店.
- 玉村文郎（1997）「和語は造語力が弱いのか」荻藤倫明・石井正彦『語構成』東京：ひつじ書房：101-116.
- 玉村文郎（1992）『日本語学を学ぶ人のために』京都：世界思想社. 水谷修（2005）『日本語教育事典』大修館書店. 291-292, 243-245.
- 趙蔚青（2012）「中国の新語・流行語」愛知大学中日大辞典編集部『日中語彙研究』2：131-140.
- 趙蔚青（2013）「中国の新語・流行語」愛知大学中日大辞典編集部『日中語彙研究』3：179-189.
- 趙蔚青（2014）「中国の新語・流行語」愛知大学中日大辞典編集部『日中語彙研究』4：255-264.
- 趙蔚青（2015）「中国の新語・流行語」愛知大学中日大辞典編集部『日中語彙研究』5：141-154.
- 趙蔚青（2016）「中国の新語・流行語」愛知大学中日大辞典編集部『日中語彙研究』6：107-122.
- 植田満文（1983）『明治大正の新語・流行語』角川書店.
- 飛田良文・遠藤好英・加藤正信・佐藤武義・蜂谷清人・前田富祺（2007）『日本語学研究事典』明治書院

- 野村雅昭（1984）「語種と造語力」『日本語学』9：40-54.
- 山口仲美（2007）『若者言葉に耳をすませば』講談社.
- 安本美典（1997）「流行語の社会的・心理的要因」『国文学 解釈と教材の研究』12：62-67.
- 陈建伟（2008）《网络流行语研究》广西大学硕士学位论文.
- 梁丽娟（2008）《中日新語・流行語の比較》广西大学硕士学位论文.
- 苗芡（2004）《“将爱”与“キムタク”——试析中日两国流行语的造词规则》《日语学习与研究》增刊001号：34-37.
- 邱雪玫·姜莹（2010）《从流行语定义的嬗变看流行语对现代汉语词汇，语法系统的渗透》《淮海工学院学报》（社会科学版）2：87-89.
- 王钦鸿（2005）《时尚与权力：社会流行语的文化透视》《山东商业职业技术学院学报》2：76-79.
- 邢福义（2007）《新词语的监测与搜获——一个汉语本体研究者的思考》《语文研究》2：1-4.
- 徐晨（2006）《流行语与社会文化心理嬗变研究》华中师范大学硕士学位论文.
- 徐旭（2012）《中日年轻人用语对比研究——以网络语为中心》辽宁师范大学硕士学位论文.
- 余文雯（2011）《中日两国语言中流行语的比较研究》东北财经大学硕士学位论文.
- 张锦文（2003）《关于汉语借词的分类问题》《辞书研究》3：69-75.